

五百亀土曜教室【西条市】

～高校生の夢の実現に向け、地域の大人が活動を支援しよう～

◆活動の目的・理念

- 高校生が地域活動を行うために必要な知識やノウハウを、地元の事業者等から学ぶ
- 市内5高校の生徒たちの想像力を発揮して、地域の魅力を発信する事業や活動の場を提供するために、地域の大人が支援する

活動場所	五百亀記念館	対象学校区名	西条市内5高校	活動のべ日数	10 日	子どもの平均参加人数	12 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	2 日	9 : 00 ~ 16 : 00	活動のべ日数	10 日	土曜教育活動推進員のべ人数	0 人
	日・休業日等	8 日	9 : 00 ~ 16 : 00				
土曜教育サポーターのべ人数	0 人			ボランティアのべ人数	19 人	教員、行政職員、会社経営者等	
参加者募集	市内5高校に出向き、直接募集 実行委員会を通じて周知		連携・協力 機関・団体	高校生活動支援実行委員会			

取組の概要

<主な取組内容>

- 信号機制御体験教室
小学生を対象にしたパソコンを用いた体験教室の指導に当たる高校生を支援。
- 多肉植物寄せ植え体験
いろいろな種類の多肉植物を寄せ植えする体験活動。
- いつでも土鍋ご飯「どこでもかまどん」の体験
バケツでつくったかまどで、ご飯を炊く体験活動。防災教育にも役立つ。
- コケリウム体験・ピーナッツシューズづくり
苔を使って瓶の中に庭園を造る体験とピーナッツの殻でかわいいシューズづくり。
- 石鎚黒茶の試飲販売
幻の石鎚黒茶の作り方を体験して、高校生がラッピングを開発し販売。
- 輝安鉱のアクセサリーづくり
輝安鉱を採取しアクセサリーに加工する方法を開発し、活動。



(信号機制御体験)



(多肉植物寄せ植え体験)

児童・生徒の感想

- ・この取組は、たくさんの人との関わりをもって成り立っていると思います。縁をつなげる機会を高校生のうちにもつことができ感謝しています。
- ・私たちの力だけではできないことが、地域の方々の支援をいただき、できたことにとっても感謝しています。



(石鎚黒茶・輝安鉱等の体験)



(どこでもかまどん体験)

<特色ある取組>

- 信号機制御体験
小学校で、新しくパソコンの授業が始まると聞いています。東予高校では、パソコンによる電子制御（今回は信号機制御。ロボット制御などもある。）の取組を行っています。これからも、企業とのコラボや支援により、教材教具の開発や高校生による小学校への「出前授業」など、この取組を広げていきたいと考えています。また、「土曜教育」の取組に、高校生がボランティアとして支援していくことも必要だと考えています。



(信号機制御体験)
小学生に教える高校生

事業を実施して

【成果】

- 市内5高校の生徒たちを支援するという枠組みが出来上がったこと。
- 活動を通して、高校生の活力が見えると共に各高校の取組の素晴らしさが分かってきた。
- 各高校の生徒が、意欲的に取り組む姿から、今後も支援の大切さが周りの大人に伝わった。

【課題】

- 高校生たちの夢や希望の実現のために、何のような方法で行うかの企画・立案の検討。
- 参加者(高校生)や支援者への周知の徹底。
- 実行委員会メンバーと高校生の「夢を語る」等の高校生の生の声を聴く活動も必要であろう。